

令和3年度 学校自己評価システムシート（学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校）

目指す学校像	教育理念を具現化し、「本当のリーダー」を育てる学校 子どもたちの「ふるさと」になる学校
--------	--

重点目標	<p>1. 本校教育の基本方針に基づき、計画的且つ円滑な教務・校務業務の遂行。 ① 進路対策②児童募集。③受験に向けた4教科の指導の充実</p> <p>2. 「本当のリーダーを育てる学校」を目標として、その具現化に向けての教育活動を展開する。 ①学習環境の整備②特色ある教育の推進・充実③豊かな人間関係づくりの推進</p> <p>3. 学校と家庭との連携「共育」を軸に、信頼関係を保つ学校運営。 ①保護者ととともに児童を育てる「共育」の実践②特色ある教育の推進・充実</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成
	B	概ね達成
	C	変化の兆し
	D	不十分

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	教務・進路入試センター・研修等の分掌（担当）において業務が進められているが、学校運営の根幹を担っている上記分掌が効率的に行われているかを確認。また、その他の分掌・係との連携によって、学校運営が円滑に行われているかを確認。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間計画を立案各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。	B	20周年を契機とした研究・研修推進体制の充実 「ふるさと」になる学校づくり
2	教科会・特色教育・複合型教育・課外活動・研修・児童会等の各分掌において、「本当のリーダーを育てる学校」「突破力を身につけさせる」を念頭に置きながら、教育目標の実践と学習指導と生活指導の一体化を推進することを通して、子どもの内在する可能性を拓く。学習指導要領の実施に伴うカリキュラムの見直し。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。 校内研修を頻繁に行い、日々の授業改善、教育技術の向上を図る。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し改善を行った。 新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により計画の変更を余儀なくされたが、カリキュラムの変更を行い対応した。	B	新学習指導要領に対応した教育課程・ICTの積極的活用『カリキュラム』の検討・作成。体験学習の充実。 教科指導のブラッシュアップ。 児童の基本的行動様式の徹底 教育相談体制の充実
3	保護者に対する様々な情報の発信、保護者の参加する学校行事、保護者会活動の充実。 学園後援会活動に際して、保護者・教職員のより一層の積極的な活動参加により信頼を保った学校運営を行う。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年に2回の保護者との個人面談での意見や、授業参観日に行なわれるアンケートを参考としてこれまでの各業務の現状を修正。	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により計画の変更を余儀なくされたが、ICTを活用し保護者へは都度連絡を取り対応した。	B	感染症収束を見越した行事や保護者会活動の計画・実施 保護者参加事業の工夫
その他	本校に於いては、上記の重点目標のほかに 施設設備・備品管理・情報機器・環境美化・防災教育・学校保健・事務(経理・庶務)などの校務分掌にて独自に目標を設定し、各学期末に業務報告を行い、次学期・次年度への課題・改善策を講じている。					

学校関係者評価	
実施日	令和4年 5月 31日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・十分達成している。何を「ふるさと」とするのか具体的な案が必要だと思う。・児童募集の際には、卒業生の内部進学、進路先の状況が共有されているようだが、在校生やその保護者も可能な限り状況を教えて頂きたい。・メディアで学校の取組みが紹介されることで、年々、受験者数が増えることは良いことだと思う。・理科や社会の小テストは授業内容の理解度の確認の意味で良いと思います。・さとえ学園小学校出身の先生や教育実習生もいて、先生同士が仲が良いのも伝わるため、将来子供たちも学校が大好きでいられると思う。</p> <p>・多くの子供達がリーダーを体験できるような教育内容がさらに充実するとよいと思う。・人前でプレゼンなどを通してリーダーシップを発揮する機会があればより多くの経験を積んでほしい。・委員会、縦割り、クラブでもそれぞれの児童が役割を与えられて活動できることは子どもに良い刺激を与えていると思う。・教育は日々、進歩し続けていると感じている。・低学年でも算数や計算の小テストをして下さるようになり勉強の計画が立てやすくなった。・ICTの使用についてもスキルアップしている。・外部の企業とのやりとりや、学校説明会の堂々とした発表も大変立派だった。・子供たちの良い所を、先生方が見つけて褒めてくださるので、信頼して安心して通学できる。・繰り返しの指導や、きめ細やかな指導、激励のコメントのお陰で、挑戦する勇氣や、努力する忍耐力も身につけた。・保護者の不安や児童の情報を先生方で共有できており学校の対応力の高さを感じる。・個人的に興味を持てる課題やお手紙で子供がやる気を出している。</p> <p>・ほぼ達成している。・信頼を保った学校運営は全てにおける基礎になるため、今後も第一優先事項として推進頂ければと思う。・保護者が学校行事に参加できるよう様々な工夫をして下さり、大変ありがたかった。・今後、保護者会や学校行事を通して、先生と保護者間のコミュニケーションの場が増える事を期待致している。・クラスルームを使用している情報の発信はとてもきめ細やかにされていて有難い。その日の子供たちの写真や子供たちの発言が記載されており、保護者も大変楽しみに見ている。・保護者が参加する行事は減ったが、信頼し安心して子供たちを学校に送り出している。</p> <p>・校長先生を始め、諸先生方の熱意に感謝申し上げます。・学校の設備は素晴らしく、いつ行っても綺麗だと感じる。・個人のパーテーションが汚れや傷があるので年に1回ほど交換してほしい。「さとえチャンネル」で手紙が日付ごとに載っており、メールのように一覧に題名を載せていただきたい。</p>	